

ライフスキル教育センターについて

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク(I-GLOCAL)

1. はじめに

現在、ベトナムの子どもたちは、学校での勉強時間が長くなり、その分遊ぶ時間は減少する傾向にある。特に、都会に住んでいる子どもたちは遊ぶ時間が少なく、学校でも遊びを学ぶ機会がなく、カリキュラムに沿った各科目を勉強するだけである。放課後も主に家の中で過ごし、テレビやパソコンが友達のような生活である。そのため、学校では授業として教えない「遊び」を重点的に教育するライフスキル教育センターという施設がベトナムには存在する。一般的なセンターでは、専門家が遊びを通してサバイバル、読み書き、会話、リーダーシップ及びセルフコントロール等のスキルが身に付くよう指導する。ライフスキル教育は、子どもが新たなスキルを習得しながら遊べるため、小学生から中学生までの子どもを持つ家庭にとっては非常に関心が高い教育となっている。

2. ライフスキル教育センター

南部のホーチミン市における南部青少年センターの「軍隊式訓練」や、TGM社の「生活を上手に行う方法」と名づけられたコースでは、開講から1年9ヶ月の間におよそ6万人が受講した。また、北部のハノイ市では、タムベト (Tam Viet)グループが子どもから大人までを対象にしたさまざまなライフスキルコースを設けている。ベトナムの二大都市でパイオニア企業の成功を見た他の企業は、次々と同種のビジネスを画策しており、ライフスキル教育センターは急増している。予備調査によると、現在、全国にライフスキルに関する組織は200以上ある¹。

ライフスキル教育の確実で効率的な方法の一つは、実際の活動を通して学習すること (learning by doing) である。6～18歳の子どもに対しては、サバイバルスキル、ライフスキル及び軍隊式訓練に関する様々な選択コースがあり、サバイバルスキルのコースでは経験ある指導員の指導によりいろいろなスキルを習得できる。例えば、水泳、石による着火、木登り、自身の管理、ピクニックを通じた実践的な問題解決及び探検等を通じたチームワークスキルなどである。このコースは40日かかり、料金は1人当たり600万～1,000万ベトナムドン (約300～500米ドル)程度かかる。

¹ <http://www.tinhte.vn/threads/hoc-ky-nang-song-dung-de-tien-mat-tat-mang.704436/>

ライフスキルのコースでは、マインドマップ・創造力を刺激する画像などの複数のツールを利用することで、プレゼンテーション・説得・会話・セルフコントロール、効果的な学習のスキル、チームワークを通じたチームスキルが習得できる。このコースは10～20日かかり、料金は80万～150万ベトナムドン（約40～75米ドル）程度かかる。

軍隊式訓練では、軍事技術アカデミーで軍隊の日常生活・学習などの軍隊規律、及び自らの世話・独立心の育成・料理・応急処置などのアウトドアスキルを学ぶ。このコースは屋外で行われ、料金は600万ベトナムドン（約300米ドル）以上である。これらのコースで評判が高いセンターとしては、TGM社、Tamvietグループ、SKIDS社がある。

5～11歳の子どもに対しては、コミュニケーション、天文学、クリエイティブアートなどの様々なコースがある。これらのコースは100万～600万ベトナムドン（約50～300米ドル）が相場である。多くの両親が関心を持っているセンターとしてはSmartkids社、Sunny Smiles社、TGM社がある。

3. ライフスキル教育センターの有効性

ライフスキルのトレーニングの有効性を数値化するのは難しいが、子どもに現れる変化で効果がはっきりとわかる。

多くの親は、ライフスキルのコースに出席した後の子どもたちは、以前に比べて自信にあふれて活発になったと述べている。子どもたちは積極的に野菜を洗ったり、家を掃除したりするなど家事を手伝うようになり、学校での発言等も積極的に行うようになったという。

これらの肯定的な声上がる一方で、ライフスキル教育センターの有効性について否定的な意見もある。ライフスキル教育センターでの教育は特に効果がないという声は、次のような理由からである。

◆プログラムの問題

子どもは運動が好きなのに、理論を教える時間があまりにも多く、運動時間といっても子どもは遊園地で簡単なアクティブゲームに参加するだけである。

◆指導官の問題

ベトナム教育心理学会のグエン・キム・クイ博士によると、ライフスキル教育センターはベトナムにはこれまで無かった新サービスのため、徹底的な研究も専門の指導官もかなり不足している。センターの大多数の指導官は、異分野の大学を卒業しており、主に自分の経験に基づき指導している。

◆期間的な問題

コース期間は一般的に 7～20 日までで、子どもたちがスキルを習得する前には学習プロセスが終了してしまう。したがって、スキルを維持するためには定期的かつ継続的な練習をする必要がある。

4. 終わりに

ライフスキル教育センターの質を改善するためには、次のような条件が必要となってくる。

- 年齢に合った教育内容を提案する必要がある。そうすることで、子どもがレッスンに十分に参加できさえすれば内容をしっかりと覚えることが可能となる。
- 広々としたモダンな教室を設置し、子どもが楽しめる空間を作る。
- 指導員はトレーニングの分野で経験豊富な専門家でなければならない。
- ライフスキル教育センターと親は協力し、家でも学校でも子どものライフスキル教育を維持していく必要がある。また、教育機関はライフスキルセンターに基準を設ける必要があり、子どものライフスキルを継続して発達させるために、親に対しては子どものライフスキルの教育を継続させるためのサポートを行う必要がある。